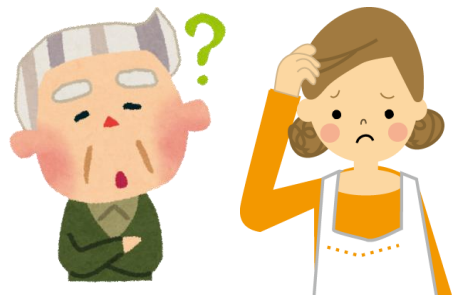


ものわすれ相談のご案内

ケア 24 善福寺では、地域の「認知症サポート医」である駒崎医院・駒崎敏昭先生と連携して認知症の相談をお受けしております。

認知症とは、単なる老化現象ではなく、病気の症状です。早めに相談し、適切な治療を受けることで、進行を遅らせたり、症状をやわらげることができます。



「以前と違う」は大事なサインです

※一人で悩まず、お気軽にご相談下さい。
(ご家族・ケアマネジャーからのご相談もお受けいたします。)

・相談日：月1回（予約していただき、日程を決めます。）

・問い合わせ：ケア 24 善福寺 電話 **03-5311-1024**

杉並区西荻北 4-31-11 西荻ミキサンハイツ 1 階

ケア 24 善福寺のご案内

杉並区地域包括支援センターケア 24 善福寺は、杉並区の高齢者の総合相談窓口です。
「ちょっと相談したい」「どうしたらいいか困っている」
「どこに相談したら良いかわからない」……。こんな時、お気軽にご相談ください。
事業のご案内や受付など、保健や福祉の専門職がご相談をお受けいたします。ご家庭にお伺いし、ご相談にのることもあります。
相談内容など、個人の秘密は守ります。相談は無料です。

ケア 24 善福寺は、西荻北 3～5 丁目、善福寺 1～4 丁目の地域を担当しています。

ケア 24 善福寺ホームページ <http://www.3friends.or.jp/care24zenpukuji/top.html>



杉並区地域包括支援センター ケア 24 善福寺
〒167-0042

杉並区西荻北 4-31-11 西荻ミキサンハイツ 1 階

TEL:03-5311-1024

FAX:03-5311-1027

窓口開設時間

月曜～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～13:00

杉並区地域包括支援センター 平成 28 年 8 月定期発行 第 2 号

ケア 24 善福寺だより

～認知症ケアを地域でささえるシリーズ②～

誰もがなる可能性のある「認知症」。認知症となっても、いつまでも地域で安心して暮らし続けるために必要なこととは何でしょうか？

今年度のケア 24 善福寺だよりは、西荻・善福寺地域で認知症の方の日常生活をささえるために日々奮闘されている専門職の方々にインタビューさせていただき、そのヒントとなりそうな情報をお伝えします。

シリーズ第 2 回目は「グループホームはこぶね」施設長：辻 清哉（つじ せいや）さんです。

＜施設概要＞

善福寺愛の園グループホームはこぶね

（認知症対応型共同生活介護 定員 9 名）

デイサービスセンターにじの家

（認知症対応型通所介護 定員 12 名）

住所 杉並区善福寺 4-20-10

TEL 03-6421-6206

運営法人 社会福祉法人聖救主福祉会

施設長 辻 清哉



Q1.グループホームの入居対象となる方はどのような方ですか？

認知症があり、ご自宅で生活することが難しくなったとしても、できる限り今までと同じ地域で、家庭的な雰囲気の中で生活することを望まれる方が申し込めます。

Q2.グループホームが提供するケアの特徴は何ですか？

認知症になられても、何もかもができなくなるわけではありません。できることもたくさんあります。例えば主婦として生活されてきた方であれば、長年やってきた炊事・洗濯などの家事動作は覚えている方が多いですし、職人さんだった方であれば大工仕事が得意ということもあります。その方のこれまでの人生の中で、大きなウェイトを占めてきた事の記憶や動作は、保たれていることが多いのです。

グループホームでは、基本的に日常生活の基本的なことはご自身で行っていただくのが原則です。スタッフが共同生活のパートナーとして、生活上の何をお手伝いすべきかをしっかり見極めて、必要なところだけを支援することが特徴です。

裏面に続きます⇒



認知症ケアを地域で支えるシリーズ②
グループホーム「はこぶね」認知症対応デイサービス「虹の家」
施設長 辻 清哉さん

⇒前ページより続く
また、その方の「できること」や「得意なこと」をホームの生活で活かしてもらおう場面もつくります。
畑での野菜作りを仕事としていたある利用者さんは、ホームでの生活に対し「畑仕事がしたい」というご意向がありました。今ではホーム内の中庭にある畑を耕すところから収穫まで、一手に引き受けてもらっています。慣れ親しんだ畑仕事をしながら昔話に花をさかせている時の利用者さんの顔は、とても楽しそうです。
人間、誰しもやりたいことをやっている時が一番楽しいと思うので、その人が好きなこと、得意なことを知ることでもホームにとってとても大事なことで考えています。

Q3.辻さんご自身がこの世界で働こうと思ったキッカケを教えてください。

介護保険制度がまだない頃のことですが、知人の紹介で、ある施設のお手伝いをしたことがキッカケです。その時にふれあったお爺さん・お婆さんがとても楽しそうにしているのを見て、それまでの高齢者施設に対する自分の認識が大きく変わりました。この仕事を全うしていけば、自分の人生を振り返った時に後悔はないのではと感じられたことが大きいです。

Q4.辻さんは、「相手が楽しそうにしている」ことをとても大事にしているのですね。

その通りです。人の心の全てがわかるわけではないですが、少なくとも笑顔でいる時は、多少なりともその方は幸福な時間を過ごしていると思います。自然に笑顔が出てくる時間、回数を増やし、「残された時間の中で、その方がどれだけ幸せな時間を送れるか」ということが、私だけではなく、ホームの職員全体の目標となっています。
ホームの職員にも、単純に介護技術を提供するだけでなく、ケアを受けた後のその方の笑顔を増やすことができるような優しさを常に求めています。

Q5. 地域で共に生活する者として、身近な認知症の方に接する際、これだけは大事にしておいてほしいというポイントがありますか？

認知症の方は往々にして、事実と異なる認識や発言をすることが多いです。しかし、事実と違っていてもその方にとっては真実です。その方に事実をつきつけて否定してしまうと、物事の是非のシロクロをつけることはできるかもしれませんが、人間関係は崩れてしまいます。
たとえ事実を違うことをその方が話してきたとしても、「その方にとっての真実」を尊重して向き合っていたきたいなと思います。これは認知症の方にのみ特別活かす技術というわけではなく、どんな人にも優しく接する時にはいつも皆さんがしていることだとも思います。

～家族介護教室のお知らせ～

ケア 24 善福寺では、介護をしているご家族の方を対象に、家族介護教室を開催しています。今回は「認知症ケアシリーズ」として下記の3つの講座を企画いたしました。

今回、インタビューを受けてくださった辻さんも講師としてお招きします。教室の日程、内容は下記のとおりです。

参加費は無料です。ご興味のある教室がありましたら、ぜひご参加ください。

日時	内容	場所	定員
平成 28 年 9 月 23 日 (金) 14 時～15 時 30 分	認知症の相談窓口を知る ～その日のために今から備える、学ぶ～ 講師 浴風会病院 東京都認知症疾患医療センター 高橋 智哉 氏 (精神保健福祉士)	西荻地域区民センター 第 2 集会室 杉並区桃井 4-3-2	20 名
平成 28 年 10 月 13 日 (木) 10 時～12 時	認知症のある方の食事介助 ～食べる意欲を引き出す、食事介助の工夫～ 講師 杉並リハビリテーション病院 リハビリテーション科職員	西荻地域区民センター 第 2 集会室 杉並区桃井 4-3-2	20 名
平成 28 年 11 月 24 日 (木) 13 時 30 分～15 時	認知症のある方との コミュニケーションを学ぶ 講師 ぐるーぷはこぶね 施設長 辻 清哉 氏	西荻地域区民センター 第 2 集会室 杉並区桃井 4-3-2	20 名

問い合わせ・申し込み

ケア 24 善福寺 電話 03-5311-1024